

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	小島 正憲	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

総合演習Ⅰでは、幼児・小学生を対象にした体育の基礎知識を学ぶことである。特に、年齢の発育に合わせた、運動あそびや授業内容を考案し、指導案の作成や模擬授業をすることで、現場に役立つ指導力を身に付ける。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	基本は対面授業を実施する。加えて、授業内容に応じて演習形式の授業も取り入れ、ディスカッション及びグループワークをする。また、学んだことや作成した資料については、積極的に発表する時間を設ける。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	受講に関する諸注意、学習の進め方、幼児体育とは？また、簡易的な自己紹介をする。	<input type="checkbox"/>
第2回	子どもの生活と運動について	心地よい空間、ガキ大将の役割、運動量の確保について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第3回	子どものからだの異変とその対策について	遅い就寝、生活リズムに乱れ、増える体温異常について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第4回	幼児期における運動の必要性について	午前のおそびに加えて、午後おそびのススメについて学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第5回	幼児期における運動の役割と効果について	身体的発育の促進、運動機能の発達と促進、知的発達の促進について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第6回	幼児体育の意義と役割について	幼児体育のねらい、幼児体育の指導法と指導内容について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第7回	小テストとその振り返り	小テストを実施（詳細は授業の際に通知）し、テスト後は回答とその説明を行う。	<input type="checkbox"/>
第8回	乳幼児期の発育と運動発達について	身体各部の発育プロセスと均衡の変化について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第9回	幼児期の運動能力と運動スキルについて	運動スキルと運動時に育つ能力について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第10回	発達障がい児の運動指導について	身体意識を養う、平衡感覚、多動性について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第11回	安全と応急手当について	応急処置の基本と実際について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第12回	体育あそびの指導計画と学習指導案の作成①	学習指導案の機能、学習指導案の例、学習指導案の作成について学ぶ。また、学習指導案の作成をする。	<input type="checkbox"/>
第13回	体育あそびの指導計画と学習指導案の作成②	前回から引き続き、学習指導案の作成をする。また、作成した学習指導案は、ゼミ内で発表する。	<input type="checkbox"/>
第14回	小テストとその振り返り	小テストを実施（詳細は授業の際に通知）し、テスト後は回答とその説明を行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	授業のまとめ	授業全体の振り返りをし、課題の提出（学習指導案）する。また、独自の授業アンケートを実施する。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前指導として、学校体育に関連する文献及び論文を調査すること（毎週2時間）。また、事後指導として、各回の講義で配布した資料、内

容を整理しておくこと（毎週2時間）。具体的には、各回で必要とする資料や課題等の準備を、「テキスト・参考文献・web調査・研究室訪問」を活用し、質の高い内容に仕上げる。

#### ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題物については即時に教員がチェックし、改善点を指導する。また、その改善点については、ゼミ内全体に情報共有できるよう適宜学生に伝える。

#### ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら、幼児体育の専門的な知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	幼児体育を中心に関連する文献調査やWEB調査をし、情報リテラシーを駆使しながら、自身の考えを持って発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	幼児体育における専門知識と自らの経験をもとに、多角的で客観的な視点を持って問題を的確に判断し、解決することができる。

#### ■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	0%	100%

#### 授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

成績評価の内訳は【幼児体育の小テスト：60%、学習指導案：40%の計100%】とし、全て授業内に実施する。

#### ■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	前橋明、幼児体育理論編、大学教育出版	978-4-86429-427-0
2	前橋明、幼児体育実技編、大学教育出版	978-4-86429-434-8
3		
4		
5		

#### ■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		